

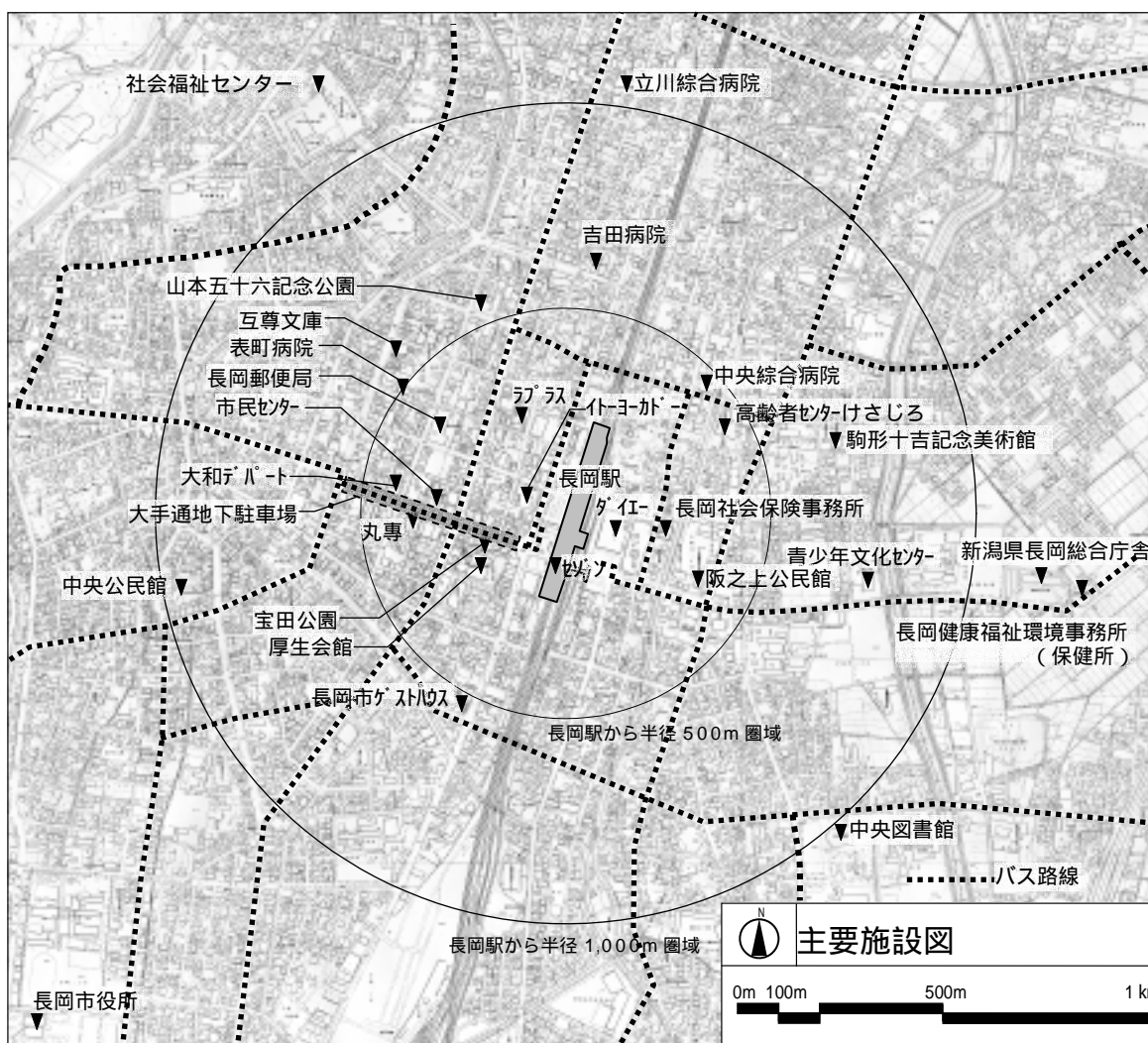
第2章 長岡駅周辺地区の現況

1. 長岡駅周辺地区の概要

長岡駅の西側は商業施設の集積が顕著であり、改修予定の厚生会館、市民センター等も含まれ、長岡の顔とも呼べる大手通りがあります。また、高齢者や身体障害者等の利用が多いと考えられる病院等もありますが、比較的駅から離れており、福祉拠点である社会福祉センターは1 km圏域を超える比較的交通が不便な場所に立地しています。

駅の東側は北に中央総合病院、南に中央図書館、東に長岡健康福祉環境事務所（保健所）など、高齢者、身体障害者等の利用が一般的に多いと考えられる施設がいくつかあり、3方向に分散しています。

市役所は駅から1.5 kmほど離れており、その他の行政関係の施設も、比較的中心市街地から離れています。



2. アンケート調査結果

長岡駅周辺地域での施設利用状況と道路の利用状況を調査するため、アンケートを実施しました。

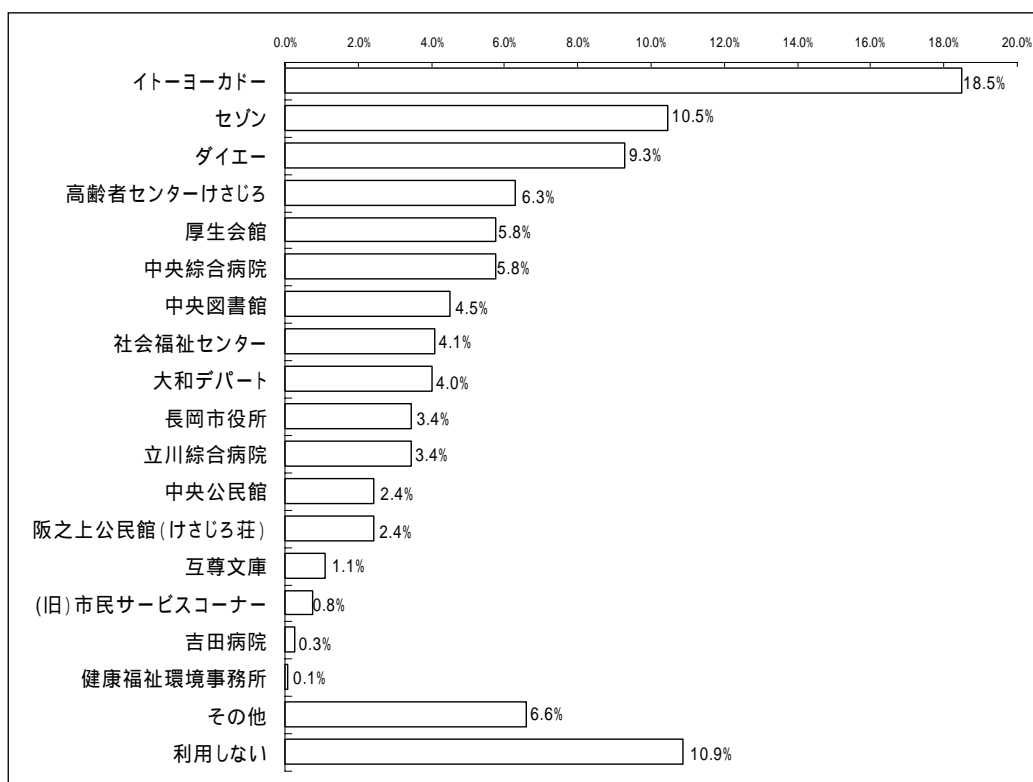
(1) 回収率

総配布部数 : 2,550票
対象者 : 高齢者、身体障害者、公民館利用者等
回収部数 : 1,066票
回収率 : 41.8%
実施期間 : 平成13年9月初旬～9月下旬

(2) 市街地において徒歩で利用する施設

駅などから徒歩で利用する施設としては商業施設がもっとも回答が多く、全体の約40%（1位：イトーヨーカドー、2位：セゾン、3位：ダイエー）を占めます。行政サービス施設では、立地上、「長岡市役所」はあまり利用されておらず、「厚生会館」、「中央図書館」などが徒歩で比較的に利用されていることがわかります。また、福祉施設としては「高齢者センターけさじろ」が全体で見ても4位となっており、比較的多くの方に徒歩で利用されています。

駅やバス停などから徒歩で最もよく利用する施設



徒歩で駅周辺の施設を利用する場合の出発点は、自宅が最も多く、全体の半数以上を占めており、次いでバス停留所、長岡駅となっています。

交通バリアフリー法は交通ターミナルを起点とした移動経路の円滑化を図ることを目的としていますが、長岡の現状を見る限り、自宅からの移動経路についても考慮する必要があると考えられます。

徒歩で駅周辺の施設を利用する場合の出発地点

長岡駅から 22.3%	バス停から 23.8%	自宅から 53.9%
-------------	-------------	------------

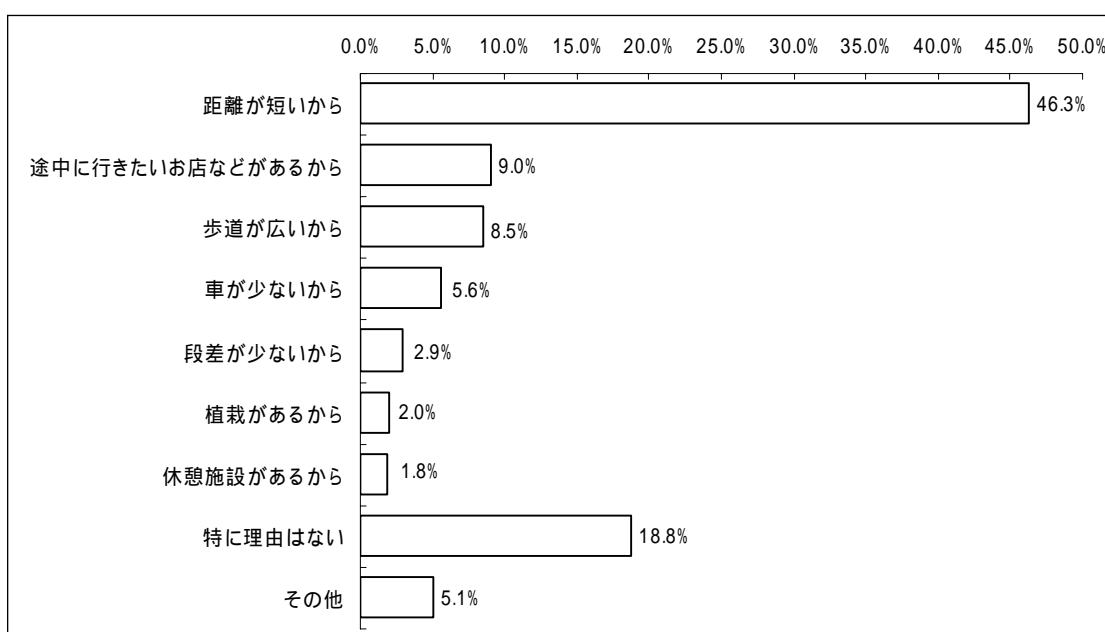
(3) 「徒歩で利用する施設」への移動経路

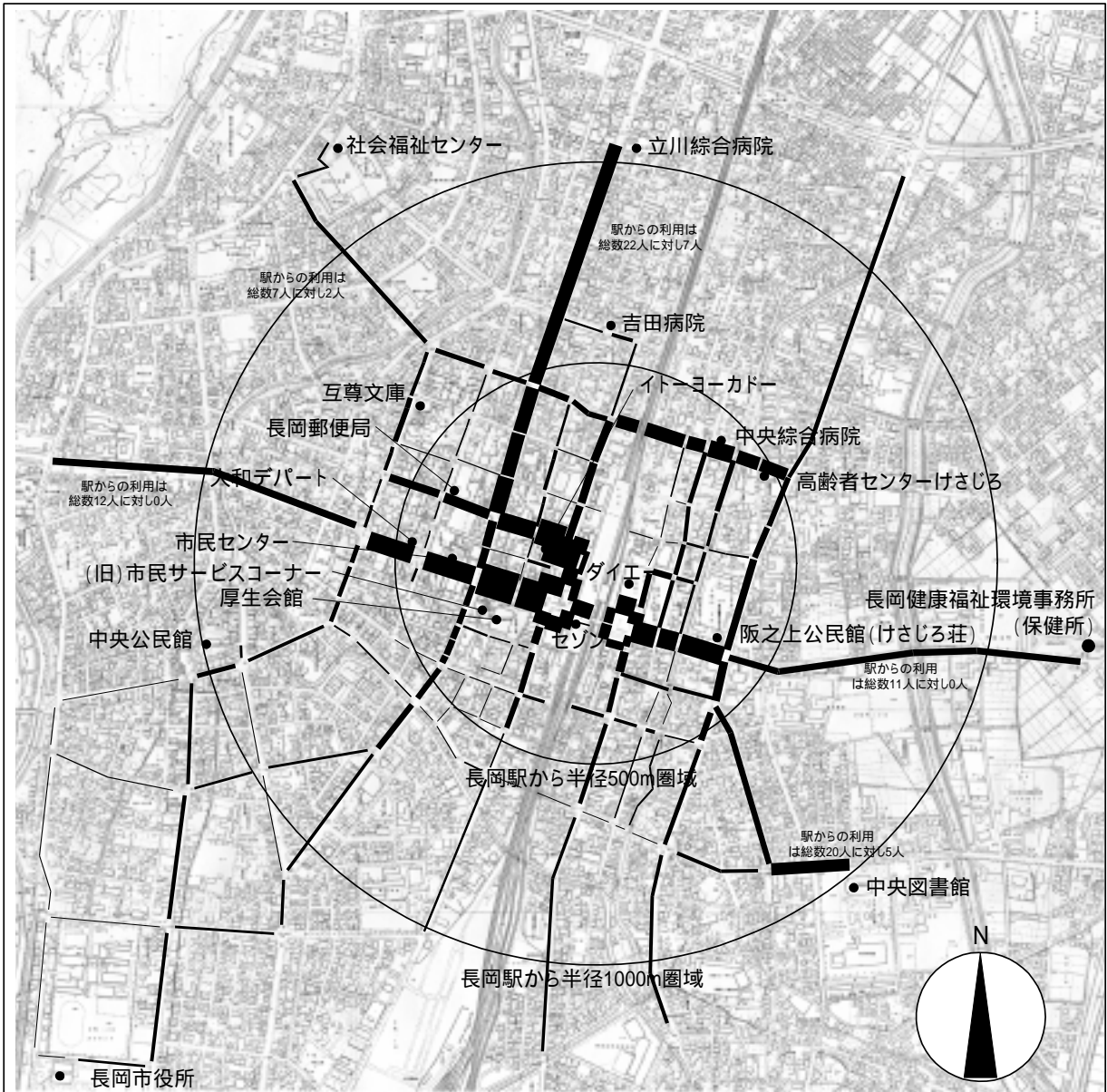
「徒歩で利用する施設」への移動経路は次頁の図に示してあります。

大手通り、駅東のシンボルロードなど、幹線道路の利用が多く、狭い街路の利用が少ないことがわかります。また、高齢者センターけさじろや中央総合病院、吉田病院など、駅北側の利用が多く、南側は中央図書館への利用が見られます。

経路を選んだ理由としては、「距離が近いから」という回答がもっとも多く、次に「途中に行きたい店があるから」「歩道が広いから」となっています。

移動の経路を選んだ理由





移動経路図(アンケート調査結果より)

通行量(通行量に応じて線の太さを表現)
1mm = 10人

0 50 100 200 500 1000m

3. 現地の状況

(1) 長岡駅

長岡駅は下図のように、地下1階から地上3階の4階層の建物です。

東西の駅前広場から改札まではエレベーターが設置されていますが、改札内には一部に車いす対応エスカレーター、リフト、業務用エレベーターがあるものの、車いすでの自力移動はできません。また、在来線の改札は車いすに対応しておりません。

車いすに対応したトイレは改札外にあり、オストメイトにも対応しており、荷物等を置ける長椅子も設置されていますが、改札内には車いす対応トイレはありません。

視覚障害者誘導用ブロックは連続して敷設されていますが、JIS規格に対応したものとはなっていません。

券売機には点字運賃表があり、券売機は車いす利用者も利用できます。

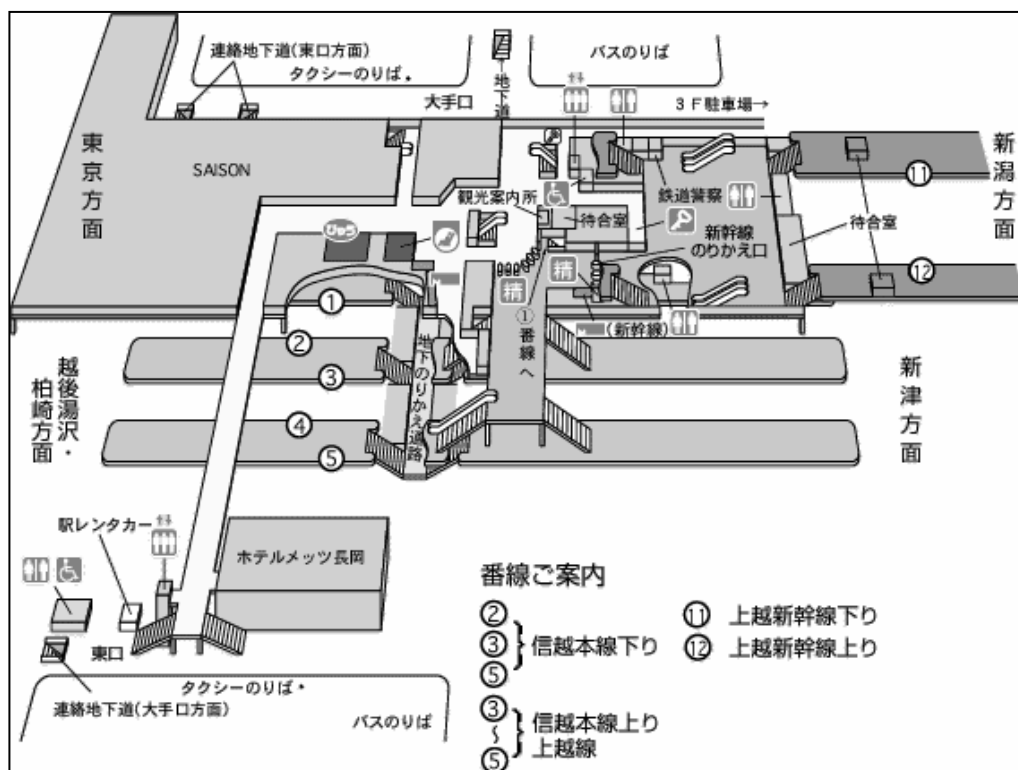
音声案内は全体的に不足しており、盲導鈴も一部にあるのみです。

案内情報は、事故等の状況に応じ変動する情報を、電光案内板などで視覚的に提供できるものとはなっていません。

【語句の説明】オストメイトとは

大腸がん、ぼうこうがん等の治療のため人工肛門、人口ぼうこうなどにより腹部に人工的な「排泄口」のある方です。日本には約20万人のオストメイトがいると言われています。

長岡駅構内図（東日本旅客鉄道株式会社のホームページより）

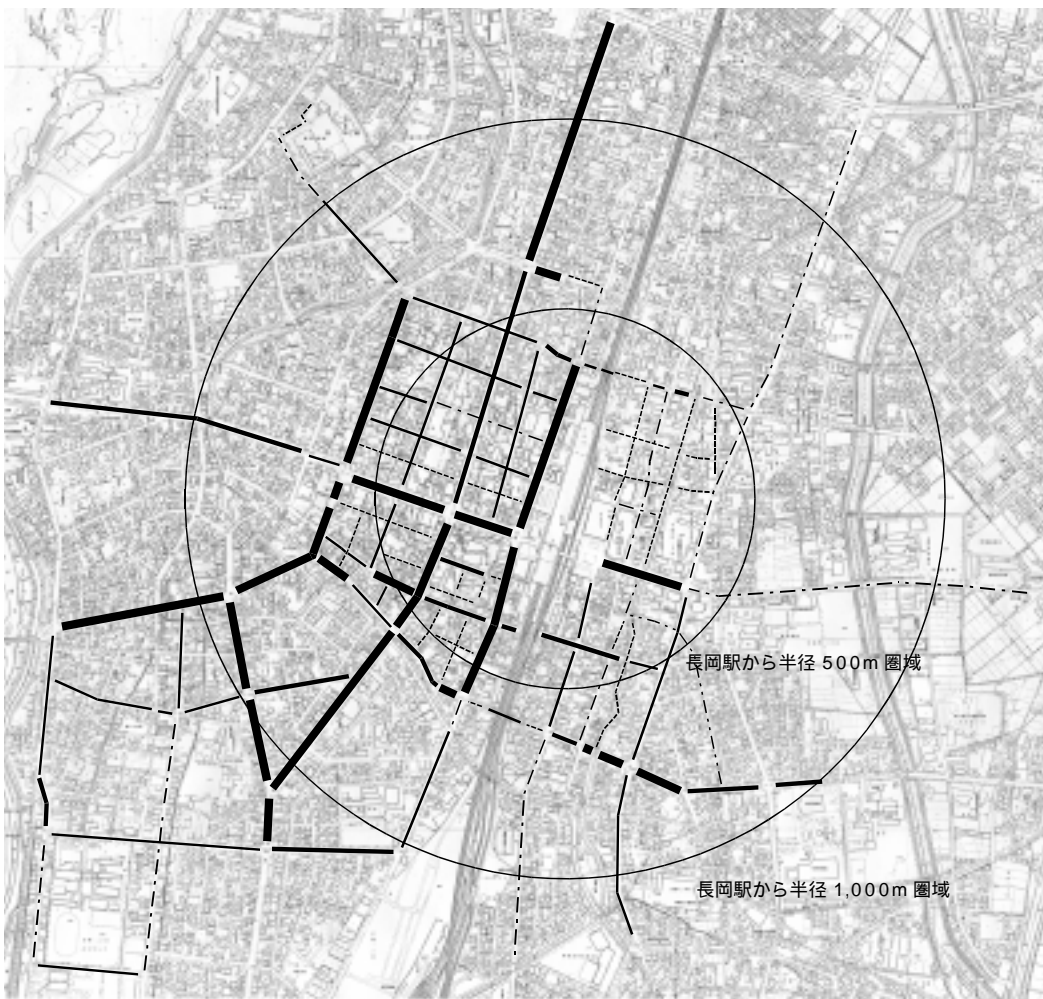


(2) 道路・通路・駅前広場

1) 道路

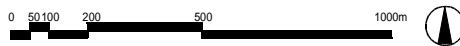
歩道有効幅員（植栽帯、電柱等を除いた歩行に有効な幅員）は駅西側では幹線道路を中心に概ね2m以上確保されています。歩道の形態はマウントアップ形式（歩道面を車道面から15～20cm上げた形式・23ページに図があります）がほとんどです。また、視覚障害者誘導用ブロックは駅西側の大手通り、国道351号、駅東側のシンボルロードでは連続的に設置されていますが、JIS規格には対応していません。

全体的に見て、駅西側の整備充実度が高く、駅東側の整備充実度が低い状況となっています。



長岡駅周辺歩道有効幅員現況図(植栽帯、電柱等を除いた歩行に有効な幅員)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| ——— 歩道有効幅員4m以上 | ----- 歩道有効幅員2m未満 |
| ——— 歩道有効幅員3m以上4m未満 | 歩道なし |
| ——— 歩道有効幅員2m以上3m未満 | シンボルロード(歩行者専用道) |



2) 通路

長岡駅の東西を結ぶ2階の通路は東西にエレベーターが設置され、視覚障害者誘導用ブロック（JIS規格には対応していない）も連続して設置されており、移動円滑化がほぼ完了していますが、入口がわかりにくいなどの指摘があります。また、管理の面から24時間解放されておりません。

地下通路は東西ともに階段だけであり、車いすでの利用はできません。



長岡駅2階自由通路



長岡駅地下通路（出入口部）

3) 駅前広場

長岡駅の手口（西口）駅前広場は、広幅員でアーケードが設置されています。駅正面の通路部に対して、北側と南側通路部では高低差がありますが、スロープが設けられています。ただし、視覚障害者誘導用ブロックが連続して設置されていないところがあります。

東口駅前広場は、広幅員でアーケードが設置されていますが、北側には大型商業施設があり、歩道上への自転車の駐輪の問題があります。



長岡駅大手口駅前広場

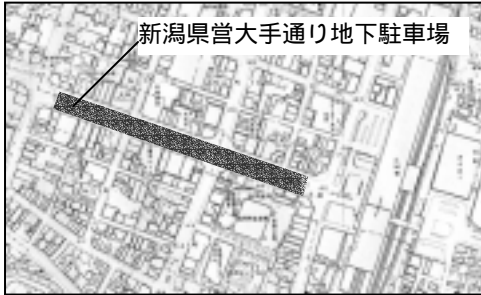


長岡駅東口駅前広場

(3) その他

1) 駐車場

新潟県営大手通り地下駐車場（収容台数 200 台、うち車いす使用者用駐車スペース 2 台）が最も規模が大きく、エレベーターも設置されているので、特定経路と一体として利用される可能性の高い駐車場です。



大手通り地下駐車場の位置



大手通り地下駐車場（通路）

2) 公園

大手通りに面する宝田公園^{ほうでん}を除き、ほとんどの公園は歩行者の多い幹線道路に面していません。

3) 音響信号機

音響信号機は、駅西側では大手通りやスズラン通りなど幹線の道路には設置されており、駅東側では、中央図書館に至るまでの経路上に設置されています。アンケートの自由意見には音響信号の増加を求める意見があり、さらなる充実が望まれます。

